

平成 28 年度 決算 に 係る

定 期 監 査 調 書

平成 29 年 7 月

鳥取県立精神保健福祉センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	2 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	8 頁
8	収入事務処理状況調べ	8 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	9 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	9 頁
11	不納欠損額調べ	9 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	10 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	11 頁
14	財産に関する調べ	11 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	13 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	13 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	13 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	13 頁
20	備品の処分状況調べ	13 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13 頁
22	職員旅費の執行状況調べ	14 頁

精神保健福祉センター個別事項	
23	当該年度における業務の概要 15頁
24	技術指導・技術援助の実施状況 15頁
25	教育研修の実施状況 16頁
26	広報普及状況 20頁
27	精神保健福祉相談の受付状況 20頁
28	新規所内相談の実施状況 20頁
29	新規所外相談者の地域別状況 21頁
30	新規電話相談の実施状況 21頁
31	組織育成の状況 22頁
32	くらしの講座の実施状況 22頁
33	イブニングサークルの実施状況 22頁
34	通院公費負担医療・精神障害者保健福祉手帳交付判定の状況 22頁
35	鳥取県精神医療審査会における審査状況 23頁
36	主な施設の整備状況 23頁
37	意見、要望等 23頁

- 1 前年度指摘事項等に対する措置等
 (1) 指摘事項 該当なし
 (2) 監査意見 該当なし
- 2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項 なし
- 3 組織及び業務調べ

課名	係名	課の主な所掌事務
こころの健康増進課	なし	1 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する知識の普及に関すること。 2 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する調査研究に関すること。 3 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する相談及び指導のうち複雑又は困難なものに関すること。 4 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」第45条第1項の申請に対する決定及び「障害者総合支援法」第52条第1項に規定する支給認定(精神障害者に係るものに限る。)に関する事務のうち専門的な知識及び技術を必要とするものを行なうこと。 5 各号に掲げるもののほか、精神保健の向上及び精神障がい者の福祉に関し必要な業務に関すること。
地域支援課	なし	1 精神障がい者の社会参加・社会復帰の促進に関すること。 2 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する知識の普及に関すること。 3 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する相談及び指導のうち複雑又は困難なものに関すること。 4 鳥取県精神医療審査会に関すること。 5 各号に掲げるもののほか、精神保健の向上及び精神障がい者の福祉に関し必要な業務に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

(平成29年 7月 1日現在)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		
		当該年度	28.4.1現在	当該年度	28.4.1現在	当該年度	28.4.1現在	当該年度	28.4.1現在	
	定員	6	6	4	4	0	0	10	10	
	現員	(1) 8	(1) 7	3	4	0	0	(1) 11	(1) 11	育休中(1)
	過不足(△)	2	1	△1	0	0	0	1	1	育休中(1)
	臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	

5 役付職員の調べ

(平成29年7月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
福祉保健部参事監 兼 所長 兼 地域支援課長	原 田 豊	年 月 2 5 8	
次長 兼 こころの健康 増進課長	森 明 美	0 3	
(併) 地域支援課医長	植 田 俊 幸	1 0 8	本務 厚生病院医長
(兼) 課長補佐	福 田 成 生	1 3	出納員 本務 東部県税事務所課長補佐

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事 業 名	決算(見込)額	財 源 内 訳		
		国庫支出金	そ の 他	一般財源
自死対策事業	155※	77		78
※及び精神保健福祉センター運営費の標準事務費 (6,107千円)により対応。				

将来ビジョン

政策項目

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

自殺対策基本法では、自死対策は地方公共団体の責務であり、地域の状況に応じて取り組むこととされており、市町村及び東部福祉保健事務所、各総合事務所福祉保健局等（以下、市町村等）の自死対策の推進を図るため、専門的立場から技術的支援等を行うとともに、自死遺族支援を行った。

(イ) 事業の実施状況

【自死対策情報センターの運営】

① 人材育成研修会

＜対象＞市町村や職域の保健師等

報告：「学校や地域とともに取り組む自死予防対策」

「日南町における自死対策」

講義：「鳥取県の自死の現状・統計データの現状と課題の抽出について」

上記内容で研修会を開催した。

② 情報収集・情報提供

・自死に関する統計データをまとめた「鳥取県の自死の状況」を作成し、また、随時警察統計による自死者数状況をまとめ市町村等へ情報提供を行った。

③ 関係機関のネットワークの強化

・各総合事務所福祉保健局の担当者等を集めた連絡調整会議を開催し、各圏域ごとの取組みについて情報交換等を行った。（2回）

・各総合事務所福祉保健局が開催する自死対策担当者連絡会、相談窓口担当者連絡会に参加し、各機関の取組み状況について情報収集するとともに、情報提供、助言等を行った。

【技術的支援（主なもの）】

- ① 東部福祉保健事務所、各総合事務所及び市町村が行う自死対策事業に対する支援
 - ・ 自死対策担当者連絡会、相談窓口担当者連絡会において助言を行った（6回）。
 - ・ 日南町ネットワーク会議及び研修会（1回）
 - ・ こころの健康づくり連絡会及びこころの健康相談（4回）

【自死遺族支援】

- ① 「家族の集い」を毎月1回鳥取市さざんか会館（偶数月）と米子市ふれあいの里（奇数月）で土曜日に開催した。

【参加者数】

単位：人、括弧内は新規再掲

鳥取	4月 3(1)	6月 2(0)	8月 2 (0)	10月 2(0)	12月 2(0)	2月 -
米子	5月 2(0)	7月 2(0)	9月 2 (0)	11月 2(0)	1月 2(0)	3月 2 (0)

イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ 鳥取県では平成16年度から継続し市町村等で自死予防対策として、普及啓発を中心に講演会やイベントを通して睡眠キャンペーンを主に行ってきた。
- ・ 取組みの経過の中で市町村等では各々の課題に応じた活動へと変化してきており、市町村の既存事業と絡めた事業実施やマンパワーに応じた取組みが進められている。
- ・ 平成28年度においては、統計データを活用し市町村の課題を整理して自死対策に取り組んでいる2市町の取組み報告と自死統計の現状と活用の仕方について研修会を開催し、今後、より効果的な自死予防対策が展開できるよう技術支援を行った。

ウ 成果

- ・ 市町村担当者連絡会による市町村からの情報によると、他市町村の取組報告を聞くことで、町内の人材の活用の方法や事業展開の糸口に繋がるなどの意見も聞かれ、他市町村の取組みを参考に事業展開をしている市町村があった。

エ 課題

- ・ 国の動きを見ると、昨年度自殺対策基本法が改正され、都道府県や各市町村において自殺対策基本計画を定めることが条文化された。
- ・ 計画策定の目的は、都道府県や市町村の地域の課題を明らかにし、課題に基づい自死予防対策の展開を図ることである。今後は各市町村の計画策定に向けた支援を行うことが必要である。
- ・ 家族の集いは、新規参加者は少ないが、参加のきっかけは新聞広告や市報等をみてという方が多く、参加者からは市報等で随時情報提供してほしいとの意見は以前から継続して出ている。今後も自助グループ及び市町村保健師等と連携しながら、集いを継続するとともに、各市町村においても遺族支援ができるよう協力を図りながら取組みを進めたい。

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
ひきこもり支援機関連絡会	※			
	※精神保健福祉センター運営費の標準事務費(6,107千円)により対応。			
将来ビジョン				
政策項目				

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

ひきこもりは、長期化すると社会生活を再開することが困難になることが多く、また、中には何らかの障がいや精神疾患を認める者もあり、精神科医療や障がい福祉サービスに繋ぐことが必要な場合もあることから、早期に介入し支援を行うことが重要である。

関係機関が連携を図ることで総合的なひきこもり支援が行えるよう、専門的な立場から助言等を行う。

(イ) 事業の実施状況 (精神保健福祉センターにて開催)

<開催日>毎月1回(第2木曜日)開催

<内容>事例について支援にいたる経緯や支援内容等を情報交換し、今後の支援方針を検討した。

<連絡会の参加機関>

- ・とっとりひきこもり生活支援センター(県がNPO法人鳥取青少年ピアサポートに委託、ひきこもりの状態にある本人、保護者からの相談を受ける)
- ・とっとり若者サポートステーション(国が社会福祉法人鳥取こども学園に委託、若者無業者本人及び保護者への職業的自立の支援を行う)
- ・東部福祉保健事務所、中部総合事務所福祉保健局、西部総合事務所福祉保健局
- ・相談支援センターサマーハウス(東部4町が委託、自宅にひきこもり、障がい福祉施策に関する情報が行き届いていない障がい者等への家庭訪問を実施)
- ・鳥取市(身近な相談窓口であり、ひきこもり家族教室を実施し、保護者への助言を行う)

イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・新たに鳥取市の担当者が定期的に参加。

ウ 成果

- ・多くの事例をとおして関係機関の連携が図れてきており、関係者のレベルアップにつながっている。

[検討事例数]

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
実件数	70件	104件	87件	95件
延件数	195件	300件	217件	256件

エ 課題

長期化したひきこもりをもつ家族は高齢化しており、特に40代後半以上の年齢になるひきこもり本人への支援は、社会参加を促す職場体験や就労支援だけでなく、地域で生活するための経済的支援や、自立した生活を送るための生活支援等が必要となることから、

今後、市町村の福祉・障がい者支援担当課との連携がますます重要となってくる。

現在は、とっとり若者サポートステーションが開催する年2回の連絡会等で市町村との連携を図っているところであるが、今後、個別の事例を通してさらに連携を深め問題解決する必要があるとともに技術支援が重要と考える。

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
東部地区アルコール関連問題ネットワーク研究会	28	9		19
将来ビジョン				
政策項目				

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

アルコール関連問題については保健、医療、福祉の関係機関はもとより、職場、地域、家庭のなかにも様々な課題がある。それらの課題を解決していくためには、各関係機関が連携して取組むことが必要である。各関係機関が事例検討・情報交換を通してネットワークを作ることを目的に研究会を開催する。

(イ) 実施状況

- ・原則：奇数月の第1金曜日（午後2時～4時）センターにて開催
- ・本年度は6回開催（12月末現在）

イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・平成28年4月に鳥取県でアルコール健康障害対策推進計画が策定され、発生・進行・再発予防の取組が明確になった。またアルコール健康障害支援拠点病院が設置されたことを受けて、拠点病院との打ち合わせを行い、当研究会の意義や地域の依存症回復支援における役割を整理し、改めて当研究会の目的を参加者と共有し、発生・進行・再発予防の各分野の課題と今後の取組を検討した。また顔が見える関係を作るため、小グループでの意見交換を行い、様々な立場から発言してもらえよう運営した。

ウ 成果

- ・参加機関からは、依存症に関する知識や情報、他機関の取組などを知ることができ、また他機関への情報発信ができ、他機関との繋がりがもてる等の感想を頂いており、当研究会の目的を果たすことができている。
- ・アルコールに関して今後の課題である、早期介入について「中高年労働者の飲酒実態と課題」の取組報告をして頂き、実態を共通し、今後の取組を検討ができた。
- ・薬物依存に関して、刑の一部執行猶予制度が施行されており、今後地域に必要とされる支援を検討するため、関係機関の現在の取組みや施設見学を行い、新たに刑務所や法テラスの参加があった。

エ 課題

依存症対策については、アルコールや薬物、ギャンブル等それぞれの依存症に対する法制定があり、依存症に対する支援にかかわる機関のスタッフ間の情報共有などの必要である。またアルコール健康障害対策推進計画が策定され、各分野の取組みが明記されているが、早期介入のために、教育や健診機関等の連携も必要になってくる。

制度の動向や地域の課題を把握し、地域のネットワークや各機関の取組みに生かせるような内容を企画していきたい。

事業名	決算(見込)額	財 源 内 訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
精神障がい者地域移行支援強化事業	375	167		208
将来ビジョン				
政策項目				

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

精神障がい者の地域移行支援を行う人材の育成及び資質の向上を図ること等により、精神障がい者の地域移行・地域定着を推進するための支援を行う。

(イ) 事業の実施状況

各種の研修会を開催し、人材育成を行った。

- ・地域移行・地域定着支援従事者養成研修会（16頁参照）

精神保健福祉医療の全国的な動向や県の精神科通院患者・入院患者の動向と地域移行支援の状況について理解し、県内の病院での実践報告や相談支援事業所の事例報告、グループワークを通じて関係機関が連携した地域移行、地域定着支援事業の実践を学んだ。

- ・精神科訪問看護管理者・従事者研修会（16頁参照）

地域の中で精神科訪問看護に期待される役割や他機関と連携して行う支援のあり方を学ぶとともに県内の精神科訪問看護の現状と課題について講義と演習、事例検討を通じて共有した。

イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

これまでの地域移行支援事業の取組みを共有し今後の地域移行を継続するために講義だけでなく、実践報告および事例検討を行うとともに連携を深めるグループワークや演習を実施した。

ウ 成果

医療機関等において地域移行支援の取組みが定着してきており、関係機関職員の意識向上や専門職のスキルアップにつながっている。

エ 課題

精神障がい者が退院して安定した地域生活を送るためには、医療機関と地域の関係機関との連携による支援が不可欠である。

精神障がいの特性および地域移行支援事業の理解と支援のスキルアップを図り、医療機関や相談支援事業所、訪問看護などの地域の関係機関による普遍的で実践的な支援が行えるよう、引き続き研修会を行うことが必要である。

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
くらしの講座	253	84		169
将来ビジョン				
政策項目				
<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 精神障がいのある方が、病気や障がいへの対処等について学んだり、趣味の幅を広げたり、健康の増進などを行うことで、地域でより自分らしい生活をしていくことを支援する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 ・開催日時：月5回(月・木・日曜日)午後1時30分～3時30分 ・6か月1クールに期間を区切り、平成28年度は2クール実施。 ・利用者数は、実利用者数36人 延利用者数332人(平成29年3月末現在)</p> <p>【講座内容】 (1) 学習講座 (2) リラックス講座 (3) 手芸講座 (4) ソフトバレーボール講座 (5) フットサル講座</p> <p>イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 参加者の年齢、疾患、障がい特性は多様化しており、個々の特性を理解し、個別にフォローをしながら、グループ活動をすすめている。</p> <p>ウ 成果 ・学習講座において、講義中心から自分の体験を話す時間などのグループワークの時間を設け、個々人の体験の情報交換を行い、参加者からは自分の生活や病気を振り返る機会となったという声が聞かれた。 ・手芸やスポーツの講座では活動を通じて参加者同士の交流が図られることで、自分なりの充実感や達成感を得ることができている。 ・スポーツ講座については、講座でのスポーツの体験を経て地域での障がい者スポーツ大会などへの自主的参加に結びついた。当事者にとっては、目標ができ生活の質の向上につながっている。</p> <p>エ 課題 当講座は、当事者の相互交流や情報交換、趣味やスポーツなどの活動の場で、それぞれの目的に応じて、講座を選択し参加されている。 障害者自立支援法施行後、福祉サービスの整備によって当事者の日中活動の場は広がっているが、そうした福祉サービスの利用を中断したり、制度利用に不安のある者などに対する日中の受け皿となっている。 しかし、障がい者スポーツ協会など他団体等の活動もさらに充実しつつあり、今後当事者のニーズや地域の状況などを考えながら開催日数や内容などの検討が必要である。</p>				

7 収入証紙取扱額調べ 該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料 (平成29年5月31日現在) (単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不能欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料	鳥取県精神障害者家族会連合会事務局の使用にかかるもの	3	19,223	19,223	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
	計(節)		3	19,223	19,223	0	0		
	合計		3	19,223	19,223	0	0		

(3) 手数料 該当なし

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入

(平成29年5月31日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑入		精神障害者家族 会連合会費等 光熱水費等	4	8,699	8,699	0	0	公有財産事務取扱 要領	
	雑入	自立支援医療 意見書作成料	8	35,640	35,640	0	0	障害程度区分の医師 意見書の取扱い及び これに係る施行事務 補助金について(厚 生労働省事務連絡)	
	目計		12	44,339	44,339	0	0		
	合計		12	44,339	44,339	0	0		

(6) 現金の取扱状況 該当なし

9 収入未済額調べ 該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

1.2 負担金、補助金、交付金、委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成29年5月31日現在)
(単位:円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令等 (規約、要領等を含む)	備考
精神衛生費	60,000							
新規以外のもの						60,000		全国精神保健福祉セン ター長年会費 ID:16-00059877 鳥取県精神科病院協議 会年会費 ID:16-00152363
目計						60,000		
合計						60,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成29年5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国庫 単原 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況		備考	
				予定価格 変更契約	契約年月日 契約額 契約(最終)	契約 期間		入札等 年月日 (契約保証金 納付年月日) 契約形態	支出 区分		支出 年月日
障がい者自立 支援事業費	国庫 1/2	「第25回心の健康フォーラム」出演に関する業務	office1102	367,524	(28.7.7) 367,524	28.7.7 ~ 28.10.21	28.10.21	前	28.7.29	367,524	新規 文書ID 16-00052401
予定価格が20万 円未満のもの				()	()		28.10.21			86,400	
目計										453,924	
合計										453,924	

13 工事請負費調べ 該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

了 土地 該当なし

イ 建物

(平成29年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考		
			面積 (m ²)	価格 (円)	増減別	異動日	面積 (m ²)	価格 (円)	増減理由	登記年月日		面積 (m ²)	価格 (円)
行政財産	本館	鳥取市江津318-1	972.80	202,620,785							972.80	202,620,785	
	車庫	鳥取市江津318-1	32.50	4,757,295							32.50	4,757,295	
	自転車置場	鳥取市江津318-1	8.11	1,107,769							8.11	1,107,769	
合計			1,013.41	208,485,849							1,013.41	208,485,849	

ウ 山林 該当なし

工 動産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし

才 物権 該当なし

力 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

了 金券の受払い状況

(平成29年3月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		残額	備考
		購入額	使用額		
郵便切手類	73,103 円	225,580 円	246,510 円	52,173 円	
合計	73,103	225,580	246,510	52,173	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成29年3月31日現在)

前年度未使用枚数	本年度中		未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
枚	枚	枚	枚
148	0	1,450円	146
		2枚	

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成29年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	団体事務局	鳥取市江津318	m ² 3.3	H28.4.1	H15.4.1	H28.4.1 ～ H29.3.31	年額 13,280	円 13,280	鳥取県精神障害者 家族会連合会	1/3免除
計							月額・年額	13,280		
普通財産		該当なし								
計										
合計								13,280		

(2) 物品 該当なし

16 借受不動産明細調べ 該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不用 決定 年月日	不用 とする 理由	処分				備考
							売払 棄却 の別	売払方法・ 棄却理由	処分 年月日	売払額・処 分費用	
卓球用具	1	H3・10・25	3年	64,890円	H29. 3.3		棄却	使用不能の ため	H29 3.31	86,400円	
穿孔機	1	H10.1.13	5年	56,700円	H29. 3.3						
合計	2			121,590円						86,400円	

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物確認できなかった物品名	個数
H28年8月22日	・有 ・無		

2.2 職員旅費の執行状況調べ

(1) 旅行伺の事前承認

旅行総件数	旅費システムで 発令日か仕発日 より遅い件数 ①	①のうち履歴で事前 承認が確認できた件 数 ②	①のうち②以外で緊急 等特別な理由があった 件数 ③	特別な理由もなく事前承認 がされていない件数 ①-②-③	備 考
225	24	0	0	0	

(2) 旅費概算払の精算等

- ア 概算払の精算が旅行完了日の翌日から2週間以上経過しているもの（零精算を除く）……………（ 0件中 件）
- イ 精算払が旅行完了日の翌日から30日以上経過しているもの……………（ 162件中 7件）

(3) 旅費の精算

用務先	旅行期間	用務内容	支出金額	備 考
東京都	H29.2.24~2.25	全国精神保健福祉センター長会、班研究ワークショップ	16,520円	

(4) 旅費の適正執行の取組状況等

旅行伺については緊急を除き、極力当日ではなく事前に申請すること、及び旅行後速やかに復命・精算を行うよう周知・徹底した。

2.3 当該年度における業務の概要

- (1) 自死対策事業 (3頁に記載)
- (2) ひきこもり支援機関連絡会 (3頁に記載)
- (3) 東部地区アルコール関連問題ネットワーク研究会 (4頁に記載)
- (4) 精神障がい者地域移行支援強化事業 (5頁に記載)
- (5) ぐらしの講座 (6頁に記載)

2.4 技術指導・技術援助の実施状況

(1) 関係機関別状況

(単位：回、人) (平成29年3月31日現在)

関係機関	保健所	市町村	福祉事務所	医療施設	社会福祉施設	母子生活支援施設	介護老人施設	障害者支援施設	教育
回数	36	47	0	60	9	20	8	22	20
対象者延人員	705	1,522	0	1,613	413	78	163	580	332

関係機関	司法	労働	警察	看護学校	行政	その他	計
回数	23	6	7	15	98	10	381
対象者延人員	405	427	467	600	3,998	289	11,592

(2) 地域別状況

(単位：回、人) (平成29年3月31日現在)

区分	総数		相談		講演		会議		看護学校業務		家族教室		ボランティア講座		学生実習		視察見学		その他	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
鳥取保健所管内	168	2,920	54	236	40	1,271	57	793	15	600	2	20	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉保健所管内	32	640	11	70	11	405	8	135	0	0	2	30	0	0	0	0	0	0	0	0
米子保健所管内	42	1,453	9	49	9	940	20	424	0	0	2	20	0	0	1	15	0	0	1	5
全 県	99	3,628	0	0	33	1,917	65	1,701	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10
県 外	40	2,951	0	0	12	710	25	1,821	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	420
計	381	11,592	74	355	105	5,243	175	4,874	15	600	6	70	0	0	1	15	0	0	5	435

25 教育研修の実施状況

(単位：人) (平成29年3月31日現在)

研修会・講習会等の名称	開催年月日	内容・講師	対象	場所	参加人員								
					保健所	市町村	福祉事務所	医療施設	老人施設	障害者施設	福祉施設	その他	計
～精神障害者地域移行支援強化会事業研修会～ 地域移行・地域定着支援従事者養成研修会(第1日)	平成28年8月27日(土)	<p>■講義『これからの精神保健医療福祉のあり方について』 講師 岩手医科大学医歯薬総合研究所 教授 末安 民生氏</p> <p>■演習『地域移行・地域定着支援の取り組み事例の検討』 講師 西伯病院地域連携室長 高田 久美氏</p> <p>事例1 発表 渡辺病院看護部副部長 坪内 隆子氏</p> <p>事例2 発表 皆生病院 事務長(精神保健福祉士) 近藤 健氏</p>	精神障害者地域移行支援に関心のある精神科医療機関、障害サービス事業所及び市町村、福祉保健局等の職員	新日本海新聞社中部本社ホール	3	2	0	16	0	6	3	12	42
～精神障害者地域移行支援強化事業研修会～ 精神科訪問看護管理者・従事者研修会	平成28年10月8日(土)	<p>■講義『精神科訪問看護の実際～地域で支えるネットワークづくり～』 講師 ACT-ひふみ 精神科認定看護師 加藤 由香氏</p> <p>■報告『県内訪問看護の現状と課題～アンケート結果から～』</p> <p>■演習『精神科訪問看護の現場での困りごととその対応について』 講師 西伯病院地域連携室長 高田 久美氏</p> <p>事例提供 発表 訪問看護ステーション結管理者 藤縄 美加氏</p>	精神科医療機関及び訪問看護ステーションにおいて訪問看護等に従事している者等	倉吉体育文化会館	2	0	0	7	0	0	0	12	21
就労支援関係者研修会	平成28年11月30日(水)	<p>■講義『精神障がい・発達障がいの理解と対応について～事例をとおして考える～』 講師 精神保健福祉センター 所長 原田 豊</p> <p>■意見交換 『各機関の取り組みと課題について』</p>	就労関係障害福祉サービス事業所等の職員	中部総合事務所	0	0	0	0	0	14	0	3	17
障がい者居宅介護(精神障がい分野)従事者研修会	平成28年12月7日(水)	<p>■講義『精神障がい者への基本的な理解と対応について』 講師 精神保健福祉センター 所長 原田 豊</p> <p>■事例発表 報告 鳥取介護サービス 管理者兼サービス提供責任者 山下 和敏氏</p> <p>■グループワーク</p>	居宅介護・訪問介護事業所等職員	倉吉体育文化会館	0	1	0	0	0	16	0	0	17

研修会・講習会等の名称	開催年月日	内容・講師	対象	場所	参加人員								
					保健所	市町村	福祉事務所	医療施設	老人施設	障害者施設	福祉施設	その他	計
～精神障害者地域移行支援強化事業研修会～ 地域移行・地域定着支援従事者養成研修会（第2日）	平成29年 1月17日 （火）	<p>■講義Ⅰ『県内の精神科通院・入院患者の動向と地域移行支援の取り組みの経過について』 講師 精神保健福祉センター 所長 原田 豊</p> <p>■報告『養和病院における地域移行支援の取り組み』 講師 養和病院医療相談室 精神保健福祉士 三島 智子氏</p> <p>■報告『西部自立支援協議会地域移行部会の取り組み』 講師 西伯病院地域連携室長 高田 久美氏</p> <p>■事例報告 中部障がい者地域生活支援センター 相談支援専門員 前田 歩未氏 倉吉病院地域連携室 精神保健福祉士 山崎 秀樹氏 藤井政雄記念病院地域連携室 精神保健福祉士 田嶋 昭彦氏</p> <p>■演習 グループワーク 西伯病院地域連携室長 高田 久美氏</p>	精神障害者地域移行支援に関心のある精神科医療機関、障害サービス事業所及び市町村、福祉保健局等の職員	中部総合事務所	5	4	0	10	0	4	2	7	32
社会復帰関係者連絡会（デイ・ケア等連絡会）	平成29年 3月15日 （水）	<p>■講義 『精神保健福祉におけるデイケアの役割と今後の課題』 講師 精神保健福祉センター 所長 原田 豊</p> <p>■報告 『米子病院デイケアの新しい取り組みについて～通過型デイケアへ～』 報告 米子病院 臨床心理士 宮崎 良洋氏</p> <p>■報告 『今後の精神科デイケアの役割』 報告 西伯病院地域連携室長 高田 久美氏</p> <p>■意見交換</p>	精神科医療機関、市町村デイ・ケア等担当者 総合事務所福祉保健局精神障害担当者 地域活動支援センターサマーハウス	倉吉体育文化会館	0	6	0	11	0	1	0	0	18
精神保健福祉センター一所内研修	計6回	<p>①事例への関わり ②精神疾患いろいろ ③向精神薬 ④ひきこもり ⑤職場のメンタルヘルス ⑥女性に多く見られる精神症状</p>	精神科医療機関、市町村、総合事務所福祉保健局、県庁担当課、地域活動支援センター、司法機関等	精神保健福祉センター	30	13		11		14		26	94

研修会・講習会等の名称	開催年月日	内容・講師	対象	場所	参加人員								
					保健所	市町村	福祉事務所	医療施設	老人施設	障害者施設	福祉施設	その他	計
東部地区アルコール関連問題ネットワーク研究会 (第1回)	平成28年 5月20日	■講義 「依存症の基礎知識」 講師 精神保健福祉センター 所長 原田 豊 ■報告 「アルコール健康障害対策推進計画について」 報告 鳥取県障がい福祉課精神保健担当 係長 網師本 教正氏	東部地域の医療・保健・福祉関係者及び職域保健関係者等	福祉相談センター 会議室	1	3	4	4	0	0	0	15	27
(第2回)	平成28年 7月1日	■報告 「刑の一部執行猶予について～国の動向と鳥取県内の動き～」 報告 鳥取保護観察所 統括保護観察官 上谷 淳子氏 ■報告 「給産会の取組について～SMARPPの取組状況～」 報告 鳥取県更生保護給産会 保護司 北尾 ひとみ氏	同上	同上	2	2	0	4	0	0	0	19	27
(第3回)	平成28年 9月2日	■事例検討 「鳥取生協病院における訪問支援の取組」 報告 鳥取生協病院 心療科 医師 田治 米佳代氏 「市町村におけるアルコール相談への対応」 報告 鳥取市 障がい福祉課 保健師 山口 るり子氏	同上	同上	2	7	0	7	0	0	0	16	32
(第4回)	平成29年 11月18日	■施設見学「鳥取ダルク」 ■報告「鳥取ダルクの活動と今後の動向について」 鳥取ダルク 代表 千坂 雅浩氏	同上	同上	1	2	0	6	0	0	0	19	28
(第5回)	平成29年 1月20日	■報告「断酒会の活動について～酒害相談への対応～」 報告 鳥取県断酒会 理事長 杉原 雄嗣氏 ■報告「中小企業労働者の飲酒に関する現状と課題」 報告 全国健康保健協会鳥取支部 産業保健師 荒尾 ゆみ子氏	同上	同上	1	2	0	1	0	0	0	21	25

研修会・講習会等の名称	開催年月日	内容・講師	対象	場所	参加人員								
					保健所	市町村	福祉事務所	医療施設	老人施設	障害者施設	福祉施設	その他	計
(第6回)	平成29年3月3日	■報告 「アルコール健康障害支援拠点病院の取組について」 報告 渡辺病院 林 敏昭氏	東部地域の医療・保健・福祉関係者及び職域保健関係者等	福祉相談センター会議室	1	0	0	4	0	0	0	16	21
計					48	42	4	81	0	55	5	166	401

2.6 広報普及状況 (平成29年3月31日現在)
(単位:回、人)

区分	延回数	対象者延人数
講演会等	34	1,017
出版物作成	0	0
教育教材貸出	8	8
その他	0	0
計	42	1,025

2.7 精神保健福祉相談の受付状況 (平成29年3月31日現在)
(単位:件)

区分	年度内新規件数	繰越件数	延件数
所内相談	310	316	4,032
所外相談	28	9	58
電話相談	378	47	2,783
計	716	372	6,873

2.8 新規所内相談の実施状況
(1) 年齢別、性別状況

(単位:人) (平成29年3月31日現在)

区分	12才以下	13~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70才以上	不詳	計
男	10	46	58	32	22	12	3	1	1	185
女	7	21	32	27	9	10	5	5	9	125
計	17	67	90	59	31	22	8	6	10	310
構成比(%)	5	22	29	19	10	7	3	2	3	100

(2) 地域別状況

(単位:人) (平成29年3月31日現在)

地域	鳥取保健所管内	倉吉保健所管内	米子保健所管内	県外	不明	計
人数	273	28	3	5	1	310

(3) 相談内容別状況 (単位：人) (平成29年3月31日現在)

相談内容	精神保健福祉相談	再 掲	
		思 春 期	酒 害
男	185	53	2
女	125	26	0
計	310	79	2

(4) 処遇状況 (単位：件) (平成29年3月31日現在)

処 遇	他機関紹介	継続指導	助言経過観察	来所予約	来所勧奨	終了	その他	計
件 数	3	187	86	6	3	3	22	310

2.9 新規所外相談者の地域別状況 (単位：人) (平成29年3月31日現在)

地 域	鳥取保健所管内	倉吉保健所管内	米子保健所管内	県 外	計
訪問指導	1	1	0	0	2
そ の 他	19	2	5	0	26
計	20	3	5	0	28

3.0 新規電話相談の実施状況

(1) 年齢別・性別状況 (単位：人) (平成29年3月31日現在)

区 分	12才以下	13~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70才以上	不 詳	計
男	0	7	19	16	15	10	6	2	73	148
女	1	9	22	13	18	12	9	13	133	230
計	1	16	41	29	33	22	15	15	206	378
構成比(%)	0	4	11	8	9	6	4	4	54	100

(2) 地域別状況 (単位：人) (平成29年3月31日現在)

地 域	鳥取保健所管内	倉吉保健所管内	米子保健所管内	県 外	不 詳	計
人 数	189	25	48	18	98	378

(3) 相談内容別状況 (単位：人) (平成29年3月31日現在)

相談内容	精神保健福祉相談	再 掲	
		思 春 期	酒 害
男	148	7	13
女	230	9	3
計	378	16	16

(4) 処遇状況 (単位：件) (平成29年3月31日現在)

処 遇	助言指導	来所予約	他機関紹介	継続指導	来所勧奨	終了	その他	計
件 数	312	21	3	29	3	5	5	378

3.1 組織育成の状況

(単位：人) (平成29年3月31日現在)

名 称	対 象	対象者延人数
共同作業所育成	地域作業所、県精神障がい者作業所連絡会	140
家族会育成	地域家族会、県精神障がい者家族会連合会	598
精神保健福祉協会	精神障がい者スポーツ大会、心の健康フォーラム	78
てんかん協会	日本てんかん協会鳥取県支部連絡会、研修会等	54
鳥取いのちの電話	鳥取いのちの電話相談員	199
ひきこもり対策支援団体	NPO鳥取青少年ピアサポート連絡会、家族会	111
発達障がい児・学習障がいの親の会	親の会「らっきょうの花」「ラビットの集い」等	139
統合失調症当事者自助グループ	精神障がい者当事者自助グループ	457
SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)研究会	SST研究会連絡会、研修会等	72
精神障がい者スポーツ振興推進団体	東部地区精神障がい者バレーボール団体	114
犯罪被害者自助グループ	犯罪被害者自助グループ	11
自死遺族自助グループ	自死遺族の会	51
精神障がい者支援団体	断酒会、自閉症協会他	33
計		2,057

3.2 くらしの講座の実施状況 (単位: 回、人) (平成29年3月末現在)

開催回数	参加実人員	参加延人員	備考
60	36	332	

3.3 イブニングサークル実施状況 (単位: 回、人) (平成29年3月末現在)

開催回数	参加実人員	参加延人員	備考
0	0	0	

*くらしの講座の参加者の要望に対して当事者の交流の場として活動 (午後5時から7時)

3.4 自立支援医療 (精神通院医療) ・精神障害者保健福祉手帳交付判定の状況 (単位: 件) (平成29年3月31日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
精神通院医療	396	356	371	308	296	359	286	285	418	272	579	630	4556
精神障害者保健福祉手帳	159	148	139	127	119	140	121	118	156	103	162	116	1608

3.5 鳥取県精神医療審査会における審査状況

(単位: 件) (平成29年3月31日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
医療保護入院届	92	100	78	83	95	88	115	64	78	121	60	91	1065
定期報告 措置入院		1	2	1					2	1			7
定期報告 医療保護	59	72	49	49	58	57	65	45	42	61	43	70	670
退院請求 措置入院													
退院請求 医療保護	1	1			2	1	1		2	1	1		10
処遇改善 措置入院													
処遇改善 医療保護													
計	152	174	129	133	155	146	181	109	124	184	104	161	1752

3.6 主な施設の整備状況調べ 該当なし

3.7 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等 特になし